

(公財)京都市景観・まちづくりセンター		令和3年度経営計画 兼 経営努力結果	
<b>基本事項</b>			
所管局課	都市計画局まち再生・創造推進室	本市出えん金	60,000 千円
基本財産/資本金	60,000 千円	本市出えん率	100.0 %
<b>当年度の取組目標</b>			
業務面	<p>目標1 「「まちづくりに係る専門家登録数」の拡大」 地域のビジョンづくりや建築協定、防災まちづくり、景観まちづくりなど、地域の特性や魅力を活かし、地域の自主的なまちづくりの取組に対して専門家を派遣し、支援を行っている。</p> <p>財団では、京都市と連携し、専門家登録を拡大することによって、多様化するまちづくりの取組に対応し、地域の魅力あふれる安心・安全なまちづくりの取組を推進する。</p> <p>目標2 「「京町家の保全等に関する条例」施行に伴う京都市と連携した京町家の保全・継承支援の拡大」 「京町家の保全及び継承に関する条例」が制定され、令和3年度は京町家所有者に対する支援制度の更なる普及啓発が必要となる。このことから、京都市・京町家相談員等と連携して、京町家所有者への相談体制の強化を図り、適切な継承を促進する。 令和3年度については、新型コロナウイルスの影響のため、目標件数を下方修正する。</p>		
財務面	<p>目標 「自主財源の拡大」 独自財源となる寄附金、賛助金の拡大や自主事業による収入増加の取組、京都市からの委託事業に占める人件費の拡大などにより、京都市からの補助金への依存度を縮減する。</p>		
組織面	<p>目標 「職員の業務遂行能力の向上」 職員の業務遂行能力の向上を図るため、業務関連資格の取得奨励制度（受験料財団負担等）を活用、自己研鑽を奨励する職場風土を醸成し、財団運営の中枢を担う人材を養成する。 令和3年度も資格奨励制度を継続し、職員の業務遂行の更なる向上を図る為、資格を取得した職員に対して資格手当を支給し、モチベーションの向上と能力開発を行う。</p>		
その他	特になし		
<b>当年度の取組目標に対する意見</b>			
所管局	<p>1 業務に関する取組 まちづくりに係る専門家登録数は安定した数値を得ているので、さらなる登録数拡大に向け取組、まちづくり支援の充実に努めることを期待する。 京町家の保全・継承支援については、目標件数に捕らわれることなく、柔軟な相談体制の確保等により、積極的な支援を期待する。</p> <p>2 財務に関する取組 補助金への依存度を数値で把握し、自主財源の拡大を目指すことは評価する。引き続き、独自財源の拡大に向けた取組の推進に期待する。</p> <p>3 組織に関する取組 資格取得奨励制度の本格導入に向けて、予算計上や職員の意向調査等も行うなど、制度設計に積極的に取り組んでいることが評価できる。引き続き、業務や財団運営に必要な資格を随時拡大するなど、財団運営を担える職員の育成に努めることを期待する。</p>		
<b>当年度の取組目標に対する総括(※)</b>			
団体	<p>業務&gt; 夜間景観の専門家や行政書士を新規登録するなど、実際の活動ニーズや専門分野の広がりに沿って充実させている。京町家の保全継承では、専門相談や市場流通に乗りにくい大型町家等への対応を積極的に行っている。</p> <p>財務&gt; 国の補助金等の外部資金を獲得した。事業収入も増加させた。</p> <p>組織&gt; 資格取得に複数の職員が取り組んだ。一方で、年度末に事業課職員9名中5名が入れ替わりとなったため、まずは体制の立て直しが必要</p>		

(公財)京都市景観・まちづくりセンター	令和3年度経営計画 兼 経営努力結果
所管局	<p>業務面：令和3年度は、専門家登録者数を拡大し、夜間景観や民泊地域支援など新たな分野の専門家を登録することにより、まちづくり活動支援の充実を図った。また、京町家相談員の新規登録募集・研修を実施し、歴史的建造物である大型町家等への対応を積極的に行った結果、京町家の保全・継承支援件数は昨年度に比べて大幅に増加している。</p> <p>財政面：令和3年度は、京町家カルテ・京町家プロフィール・京建物カルテの作成依頼の増加及び国補助金の新規獲得に至ったものの、京都市からの委託料の減少などの影響を受け、収入は微増に留まった。一方で、昨年度には欠員のあった職員体制が充足したことに伴い、費用が増加した。そのため、収支は赤字となった。</p> <p>組織面：まちづくりセンターの人的ネットワークを生かすため、組織の中核となる職員の登用育成が必要である。令和3年度末には、事業課職員の約半数が入れ替わっており、職員の育成は喫緊の課題である。資格取得奨励制度では、資格を取得した職員に対して資格手当を支給し、モチベーションの向上と能力開発に取り組んでおり、引き続き、業務や財団運営に必要な資格を随時拡大するなど、財団運営を担える職員の育成に努めることを期待する。</p>

## (公財)京都市景観・まちづくりセンター

令和3年度経営計画  
兼 経営努力結果

## (1)業務に関する取組

## 目標1「まちづくりに係る専門家登録数」の拡大

当年度目標	地域のビジョンづくりや建築協定、防災まちづくり、景観まちづくりなど、地域の特性や魅力を活かし、地域の自主的なまちづくりの取組に対して専門家を派遣し、支援を行っている。 財団では、京都市と連携し、専門家登録を拡大することによって、多様化するまちづくりの取組に対応し、地域の魅力あふれる安心・安全なまちづくりの取組を推進する。
当年度結果 (※)	令和3年度は、まちづくり専門家3名を新規登録し35名となった。地域まちづくりに取り組む18地域に専門家を派遣し活動を支援した。まちづくり専門家の育成のための講座を1回開催した。

指標1	まちづくりに係る専門家登録数 (単位:件)							
目標と実績	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)
		29		29		32	34	35

## 目標2「京町家の保全等に関する条例」施行に伴う京都市と連携した京町家の保全・継承支援の拡大

当年度目標	「京町家の保全及び継承に関する条例」が制定され、令和3年度は京町家所有者に対する支援制度の更なる普及啓発が必要となる。このことから、京都市・京町家相談員等と連携して、京町家所有者への相談体制の強化を図り、適切な継承を促進する。 令和3年度については、新型コロナウイルスの影響のため、目標件数を下方修正する。
当年度結果 (※)	令和3年度は、専門相談がコロナ禍前の水準に戻るとともに、大型町家の往訪相談や活用提案が増加した。京町家プロフィールの発行件数が大幅に増加した。

指標1	京町家の保全・継承支援件数 (単位:件)							
目標と実績	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)
	180	186	190	185	190	146	160	211

## (2)財務に関する取組

主要財務数値	(単位:千円)						備考欄
	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	予算	実績	予算	実績	予算	実績(※)	
経常収益	186,770	143,189	180,767	142,345	175,874	142,406	
経常費用	186,770	131,901	180,767	141,827	183,374	147,859	
当期経常増減額	0	11,288	0	518	△7,500	△5,453	
当期正味財産増減額	△33,173	9,591	△29,673	△6,916	△38,673	△11,436	
資産合計	-	320,858	-	314,004	-	299,305	
負債合計	-	39,132	-	39,195	-	35,932	
正味財産	-	281,726	-	274,810	-	263,373	

## (令和3年度単年度経営計画)

(公財)京都市景観・まちづくりセンター	令和3年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------------	-----------------------

## 目標「自主財源の拡大」

当年度目標	独自財源となる寄附金，賛助金の拡大や自主事業による収入増加の取組，京都市からの委託事業に占める人件費の拡大などにより，京都市からの補助金への依存度を縮減する。
当年度結果 (※)	令和3年度は、国の補助金や他団体からの事業委託による外部資金を獲得した。賛助会費とファンド寄附金・募金による会費等収入が増加した。京町家カルテ・プロフィール手数料やセミナー受講料等による事業収入も前期から増加した。市の事業委託が減少し、収益合計が前期並となったため、補助金の割合は前期から変動なし

指標	収入に占める京都市補助金の割合 (単位：%)							
目標と実績	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)
		35.2%		30.9%		27.5%	30.0%	27.4%

## (3)組織に関する取組

## 目標「職員の業務遂行能力の向上」

当年度目標	職員の業務遂行能力の向上を図るため，業務関連資格の取得奨励制度（受験料財団負担等）を活用，自己研鑽を奨励する職場風土を醸成し，財団運営の中核を担う人材を養成する。 令和3年度も資格奨励制度を継続し，職員の業務遂行の更なる向上を図る為，資格を取得した職員に対して資格手当を支給し，モチベーションの向上と能力開発を行う。
当年度結果 (※)	令和3年度は、資格取得奨励制度により文化財マネジャー育成講座を修了した1名の受講料を支援した。また、同制度を活用して、宅地建物取引試験を1名が受験、景観エリアマネジメント講座を1名が受講した。

指標	業務関連資格の取得件数 (単位：件)							
目標と実績	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)
		1	2	0	3	1	2	1